

でんでん通信 第三号 令和四年七月

八月二十三日（火）施餓鬼供養会

本年もコロナウイルス拡散防止のため、参列いただくのは、初盆のお家の方、総代、年行事さまだけとして、一般の方のご参詣はお断りとさせていただきます。

なお、前日までに志をあげられたお家の方には、後で塔婆等を届けさせていただきます。

十時より山門、新亡施餓鬼供養会

今年初盆を迎えられたお家の方は、準備の都合上、おまいり人数をご連絡ください。また当日までに白木のお位牌をお持ちください。

十一時より檀信徒施餓鬼供養会

古い旗、塔婆は本堂の箱にお入れください。当日供養し、新しい旗、塔婆をお渡しします。

坐禅会

八月三十日（火）十時に坐禅会を開催します。みなさんのご参加をお待ちしております。

心に深く刻んで暮らしたい

夏が来ると「冬がいい」と言う冬が来ると「夏がいい」と言う太ると「痩せたい」と言い

痩せると「太りたい」と言う

忙しいと「暇になりたい」と言い

暇になると「忙しい方がいい」と言う

自分に都合のいい人は

「善い人だ」と言い

自分に都合が悪くなると

「悪い人だ」と言う

借りた傘も 雨が上がれば邪魔になる

金を持ってば 古びた女房が邪魔になる

衣食住は昔に比べりや天国だが

上を見て不平不満の明け暮れ

隣を見て愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのか

静かに考えてみるがよい

一体自分とは何なのか

親のおかげ

先生のおかげ

世間様のおかげの固まりが

自分ではないか

つまらぬ自我妄執（じがもうしゅう）を捨てて

得手勝手を慎んだら

世の中はきつと明るくなるだろう

俺が

俺が

を捨てて

おかげさまで

おかげさまで

と暮らしたい

※インターネットより

世間ではお盆休み、夏季休暇といって帰省される方も多いと思います。帰省先では、久しぶりの顔合わせでにぎわうことでしょう。そんな折に、どうぞお仏壇の前に座り、静かに心を調べ、仏さま、ご先祖さまへ手を合わせ、おかげさまで無事に帰ってまいりました。これからもどうぞよろしくお願ひします、と念じましょう。

お盆のお飾り

お盆のお仏壇へのお供えはどうすればいいですか、とよく訊かれます。基本的には提灯を飾り、その時の旬のお菓子、果物、お野菜などを供えていただければよろしいです。

お盆の精霊棚を設けるならば、位牌を祀り、その前に大きな里芋の葉の上にナスやキュウリに割りばしを割った4つの足を作り。馬と牛に見立て、素麺を湯がき三途の川に見立て、トウモロコシや人参の細かく刻んだものを飾ります。

ご先祖様が馬で早く三途の川を渡って帰ってこれ、牛に乗ってゆっくりと帰られる、細かく刻んだ野菜は馬や牛の餌という風習もあります。